

# 組織目標評価報告書（平成23年度）

部局名： 大学院医歯薬学総合研究科(医学系)  
医療教育統合開発センター

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b> <b>①-1 目標</b> 学部、研究科、病院、医療教育統合開発センターが一丸となり、岡山大学医学系を中心としたシームレスな医師のキャリアパスの確立を目指す。  大学院定員充足を目指す。  医療教育統合開発センターの人員と内容をさらに充実させ、臨床系教育の有機的・機能的な展開を進めることでその機能の充実を図る。	<b>自己評価</b>  鹿田地区に点在するシミュレーションスキルラボを中心に、医・歯・薬・保・病院合同でのセミナーを計画し、実施した。特に、チーム医療シミュレーション教育としては、医学科1年早期体験実習、女性外来乳房触診トレーニング、レツツライコミュニケーション、初期研修医ICLS、CAROT、ハワイ大学式シミュレーショントレーニング、歯科医医療面接研修、医療コミュニケーション実習、医療面接実習アドバンス、中四国SPフォーラム、病棟急変シミュレーション、アキュタッチ内視鏡検査トレーニングなどを実施している。さらに、医学科6年生の卒業試験としては、「Advanced OSCE」を医学科教務委員会と共同で実施(平成23年9月17日:岡山大学病院外来棟)し、次年度からの卒業試験への導入を準備中である。  平成24年度大学院入学定員は充足した。(3月20日現在、定員128名のところ139名が入学手続きを完了している。)  医療教育統合開発センターの人員については、7月より地域医療再生計画により助教の採用を行っている。臨床系教育の有機的・機能的な展開を進め、その機能の充実を図る目的で、学内の教職員を対象としたFDとして、「海の日FD」を医学科教務委員会と共同で実施した(平成23年7月16日:岡山県青年館)。
<b>①-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b>	
<b>②研究領域</b> <b>②-1 目標</b> 地域産学官共同研究拠点整備事業であるおかもやまメディカルイノベーションセンター(OMICS)の運営を開始し、分子イメージング研究を推進する。  科研費及び外部資金のさらなる獲得を推進する取り組みを行う。  他の医療系(歯学系・薬学系)との研究交流をさらに活発化させ、新たな研究シーズの発見とその臨床応用に向けた取り組みを開始する。	<b>自己評価</b>  おかもやまメディカルイノベーションセンター(OMICS)は平成23年4月に開所式を挙行し、その運営を開始している。平成23年度末現在、ほぼすべてのインキュベーションラボの入居が完了し、分子イメージング研究が推進されている。  科研費及び外部資金のさらなる獲得を推進し歯学系・薬学系との研究交流をさらに活発化させるため、11月19日、20日の2日間にわたり80名の医歯薬学若手研究者によるブレインストーミングを実施した。さらに、平成24年2月には理化学研究所とのキックオフシンポジウムを実施し、研究シーズの発見とその臨床応用に向けた取り組みを開始している。
<b>②-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b>	
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b> <b>③-1 目標</b> 学部、病院とも連携して岡山県地域医療再生計画を推進するとともに、女性医師等復職支援事業のさらなる充実を図る。  学部、病院とも連携して、岡山市総合医療センター構想をさらに推進させる。	<b>自己評価</b>  学部、病院とも連携して岡山県地域医療再生計画を推進している。女性医師等復職支援事業については着実に復職医師数は増加している。  岡山市総合医療センター構想については、学部、病院とも連携して岡山市の方向性と合致した協力を積極的に行っている。
<b>③-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b>	
<b>【総括記述欄】</b>	